



KUMAMOTO

GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary-club district 2720 rotary international



ロータリー:
変化をもたらす

2017～2018年度テーマ

国際ロータリー 「変化をもたらす」

R.I. 会長 イアンH.S.ライズリー

地区方針 「ロータリーを奨励し、ロータリーを楽しもう」

R.I. 2720 地区 ガバナー 永田 壮一

熊本グリーンRC 「ロータリーを楽しみ、会員相互の研鑽・親睦を深めよう」

熊本グリーンRC 会長 河野景治

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：河野景治 ■幹事：中島三千代 ■会報担当：長野義文
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgro@serc2720.org

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

【2018年2月5日】

第1289回

2017-2018年度 第26回

【例会】

1. 開会・点鐘 18:30
2. 食事と交歓



国歌「君が代」

熊本グリーンRCの歌「友と語ろう」

来訪者紹介 (河野 景治 会長)

熊本城東RC

森永 博臣 君 外山 正博 君

友情の握手

会長スピーチ (河野 景治 会長)

本日は風邪で喉を傷めまして、お聞き苦しい声で相済みません。検査しましたらインフルエンザではないようですので出席できました。とはいえ、小生の会社では全員がインフルエンザ予防接種をしていながら女性社員は全滅で、その猛威に驚嘆しております。立春といい乍ら、本格的な寒さが今日も続いております。他方、先週のスピーチで3月16・17日の地区大会交流会・地区大会のご出席をお願いいたしました。結果、たくさんのクラブ会員に申込みいただきました。ありがとうございます。そして地区大会当日も宜しく願い申し上げます。本日は年度中盤のクラブ協議会と相成っております。今年度も7カ月を経て折り返し点を過ぎたところですが、もう半期過ぎた～という面と、まだ半期しか過ぎてない～という面がございます。

ます。同様に、もう半期しか残っていない～という思いと、まだ半期も残っている～という思いもあるかと存じます。本日は各委員会からのその報告と、今後の計画を協議する場でございます。年度初めに計画された活動や、計画に加えられた活動も幾つかございました。随分、前の事のようにも感じますし、ついこの間の事のように感じるものもございます。検証することで新たなヒントが生まれてくることも多々あります。また、これからの活動についても、年度後半の計画について、良い意味で変更したり、良い意味で追加したり、まだまだ種々のチャレンジが出来るかと存じます。そして、一つ一つの事業にはクラブ会員の参画も不可欠です。年度後半もどうぞ宜しくお願いいたします。

幹事報告 (中島 三千代 幹事)

■ 報告事項 (その他のロータリー関係)

①熊本江南RCよりホテル駐車場の変更について (お知らせ)

熊本駅周辺のビル建設計画に伴い、ザ・ニューホテル熊本 (旧 ホテルニューオータニ) の駐車場を平成30年1月末日を以て閉鎖させて頂きます。2月以降のホテルご利用時は周辺提携駐車場のご利用をお願い致します。尚、ホテルご利用条件に応じて駐車料金の一部をサービスさせて頂

卓話予定

- 2/19 「熊本グリーンRC創立29周年記念例会」
- 2/26 クラブ・フォーラム「創立30周年事業について」
- 3/ 5 ★熊本グリーンRCとの合同例会「熊本グリーンローターアクトクラブ活動報告」
- 3/12 池部啓太春常から伊能忠敬御用測量へ 郷土史研究家 平田 稔 氏

【熊本グリーンRC ホームページアドレス】 <http://www.kg-rc.com/>

3. 例会プログラム

第4回クラブ協議会



地域社会で活動する世界中のロータリー会員の合言葉は、「もっとよいことをしよう」。私たちは、地元で持続的な変化をもたらすために、人びとを結びつけることに力を注いでいます。「世界を変える行動人」である私たちが目指すのは、地域社会をもっと良くするために“ちから”をつなぐこと。Rotary.orgからあなたもご参加ください。

ロータリーと共に

「ちから」をつなごう

「世界を変える行動人」
キャンペーンの広告や
資料はrotary.org/
brandcenterからダウン
ロードできます。

Rotary



財団設立 50 周年記念式典開催速報

2月4日、当会財団法人設立50周年式典がグランドニッコー東京 台場にて開催され、日本全国、また世界各国から約700人にご参加いただきました。なお当日は、たくさんのロータリアン、学友・奨学生がボランティアとして協力してくれました。この場をお借りして御礼申し上げます。

フォーラム 50周年記念委員会の塙東男委員長の宣言により、第1部フォーラムがスタート。財団を代表し、小沢一彦理事長より本式典にご参加いただいた方々へ感謝の言葉が述べられました。続いて2016-18年度国際ロータリー理事・斎藤直美氏および東京RC会長・森田富治郎氏から祝辞をいただいたあと、フォーラム「世界に平和の種をまく ～米山記念奨学事業、未来への提言～」が始まりました。ファシリテーターは高野孫左衛門氏、学友を代表して陳思乾さん、全炳台さん、林小微さん、ジャンチブ・ガルバドラッハさん、于咏さんの5人がパネリストとして登壇し、「奉仕・成長」「恩返し・懸け橋」「行動・ネットワーク」などを主題に、各自が熱い思いを述べました。高野氏はさらに、6人の歴代理事長が描いた夢を示しながら、「ゲーテの言葉に“小さい夢は見るな。それには人の心を動かす力がないからだ”とあるように、米山記念奨学事業の発展には人材育成・世界平和・国際親善の推進といった基盤があったからこそ、多くの人々の心を動かすことができた」とし、設立時にロータリアンが掲げた夢を今後も一貫して描き続け、夢の実現に向け事業を推進していこうと力強く呼び掛けました。

祝賀会 第2部祝賀会は、二胡奏者として活躍する学友の姜暎艶さんの華麗な演奏で始まり、奨学生・学友たちがロータリアンの入場を手拍子で出迎えました。50周年記念委員の相澤光春氏と学友のジョルダヤコヴァ・サウレさんの息のあった進行のもと、駐日ミャンマー大使をはじめ、各国大使館・地域代表機関などからの来賓が紹介されました。続く記念講話には神奈川県立保健福祉大学名誉学長の阿部志郎氏が登壇。御年92歳の阿部氏は、幼少時、近所に住む米山梅吉・春子夫妻とよく顔を合わせたそうです。「皆さんは米山スピリットの継承者。経済・社会・世界に対して傾ける耳、差し伸べる手を持つ」との力強い言葉が感動を呼びました。また、特別表彰として、当事業に多大な貢献をされていた坂本精志氏ご夫妻に、小沢一彦理事長から感謝盾と花束が贈呈されました。「家族で話し合っ、持てるもの全てを社会に還元することを決めた」という坂本氏の言葉もまた、聞く人に深い感銘を与えるものでした。

学友を代表し1965-68年度奨学生・廖一久さんの感謝のスピーチ、姜暎艶さんのアトラクション演奏が終わると、あっという間に閉宴の時間に。最後は、全ゲスト700人による圧巻の「手に手つないで」で締めくくられました。

